

(別紙4(2))

グループホーム 陽光の家

事業所名:

作成日: 平成 28 年 9月 13日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	終末期・看取りについてホームとしてどこまでできるのか詳細を検討中である。	体制上看取りを行ってない施設として、線引きを明確に行い、入居者やご家族にとってもっとも適した生活の場へ案内できるように支援する。	入居者の状態を踏まえ、今後の生活の場について個別に連絡・相談を行っていく。	6ヶ月
2	52	一時的な場所や職員のみが利用する場所の物の配置や収納がいまいち整理整頓されておらず、スペースの有効活用ができていない。	施設内過しやすいように配置を考え、危険のないように整理整頓を行う。	限られた空間を有効活用する為に不用な物は捨てて物品を少なくする。書類や小物をまとめ、何が何処にあるのか把握しやすい環境を作る為、配置換えに取り組んでいる。	4ヶ月
3	68	職員の入替りに伴い、ベテランと新人の間に考え方、捉え方の差が生じている。	話し合いの場を持つことで、施設の方針や職員の考え方を摺り合わせていく。一人一人が意見のできる環境を整えて意欲的に仕事に取り組める。	月に一回ミーティングを行い、当月のヒヤリハットや特変について検討できる機会を作りました。毎日職員が仕事を終える前に終礼を行い、一日を振り返ることを取り入れました	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。